

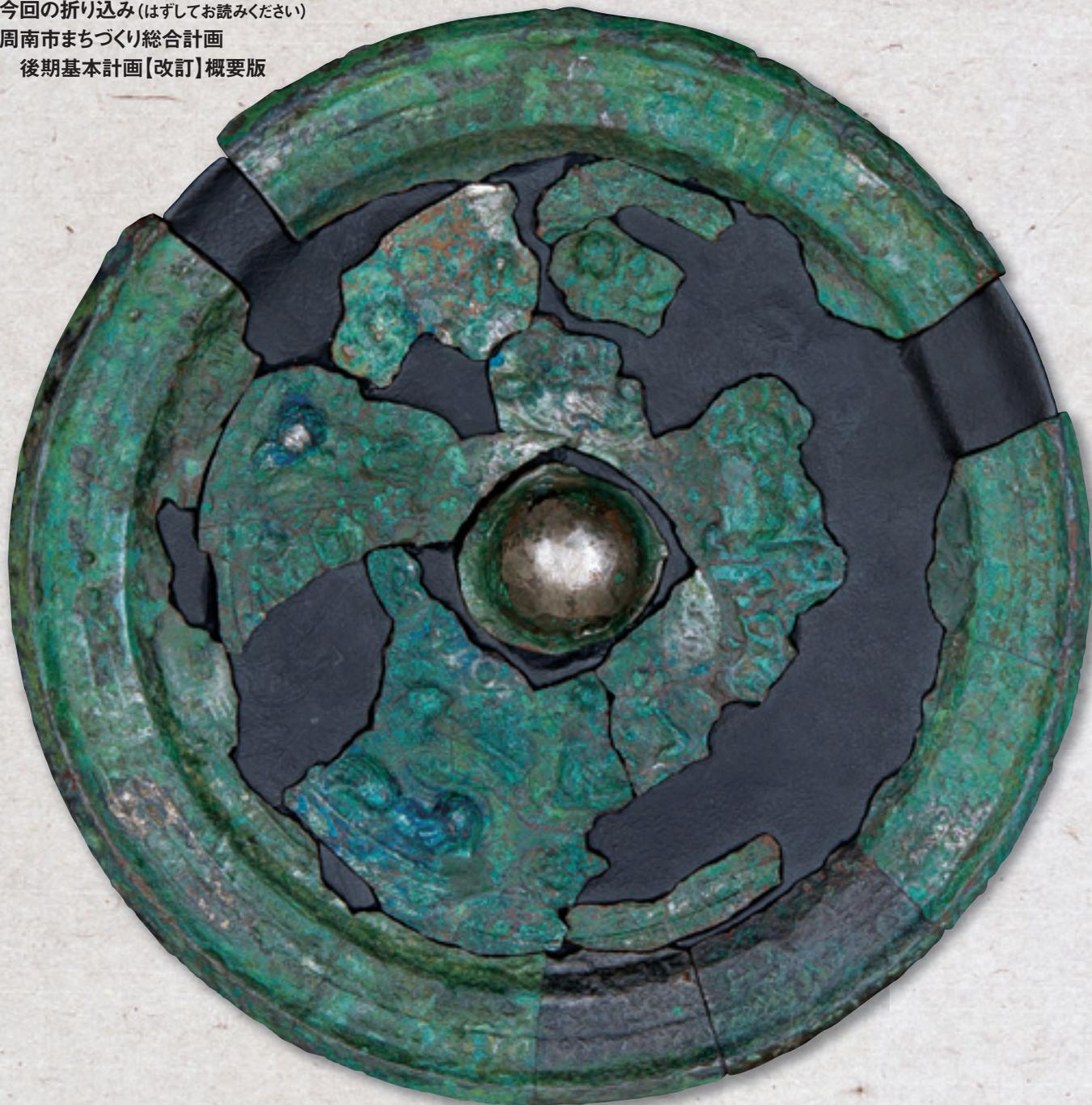
## 平成24年度 施政方針

市の組織機構を改編します

●今回の折り込み(はずしてお読みください)

周南市まちづくり総合計画

後期基本計画【改訂】概要版



# 平成24年度

# 施政方針

## はじめに

本口こに、平成24年度予算案をはじめ、諸議案のご審議をお願いする市議会の開会にあたり、私の市政運営に関する所信の一端をご説明申し上げ、議員ならびに市民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から1年が経とうとしています。被災地においては、復旧・復興のための懸命な努力が続けられています。

私たちは、「この「国難」とも言える状況を一刻も早く克服し、被災者の皆様が落ち着いた暮らしを取り戻し、これまでのような活気が被災地にもたらされるよう、国を挙げて再生に向けて取り組んでいく必要があります。

必ずやこの苦難を乗り越え、「日本再生」が果たせるものと確信しております。

さて、今年1月、国立社会保障・人口問題研究所から将来人口推計が発表されました。

2048年に日本の人口は1億人を割り込み、2060年には現在のおよそ3分の2にあたる8674万人となり、このうち、65歳以上の高齢者の占める割合は約4割に達するといふものでした。

また、経済、社会保障などあらゆる面で日本社会を支えることとなる15歳から64歳までの生産年齢人口は、2060年には半減するといふことも公表され、この推計は大きな衝撃をもって受け取られました。

かつては、高齢者1人を多くの若者が支える「胴上げ」型社会でしたが、今日は若者約3人で1人の高齢者を支える「騎馬戦」型となり、やがて高齢者1人を若者1人が肩車によって支えなければならぬ社会が現実のものになろうとしています。



一方、我が国の経済情勢につきましては、復興需要などに伴う今後の緩やかな回復が見込まれるものの、歴史的な円高や電力供給問題、それに伴う産業の空洞化、欧州金融不安に端を発した世界経済の減速懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

国と地方の長期債務残高についても、国内総生産額(GDP)の2倍にあたる約1000兆円となっており、経済の回復と財政健全化が最大の課題となっております。

こうした時代にあつて、高齢者も若者も、全ての人が希望と夢が持てる社会、そして、子どもや孫たちの時代になつても、いつまでも豊かな暮らしと誇りがもたらされるような社会を創造していくことが、今を生きる私たちの使命です。

市長に就任して、平成24年度は2年目を迎えることになりました。

常に、アンテナを張り巡らせ、情報や機会を先取りし、何が大切で何が必要かをきちんと見極め、舵取りを誤ることなく、将来を見据えたまちづくりを展開していきたいと思ひます。

私が目指す理想の周南市は、市民一人ひとりが住み慣れた地域でいつまでも笑顔で生き生きと暮らすことのできるまちであり、人々が日々の落ち着いた生活の中から、真の豊かさや喜びを実感できる地域社会です。

「共に支え合い」そして「分かち合う」ことで、はじめて人は温もりを感じ、幸せを共有することができると思ひています。

私は、今の市民のため、そして将来の市民のため、まちづくり総合計画・後期基本計画において、まちづくりのテーマとして掲げる「オー・ル周南」もやいであ進めるまちづくりを推進することにより、市民一人ひとりが大切にされる「ふるさと周南」の実現に邁進します。

## 平成24年度予算と主な取り組み

それでは、平成24年度予算と主な取り組みについて、ご説明申し上げます。

平成24年度においては、まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げる各プロジェクトを最重要課題として取り組むこととし、当初予算は、

くり総合計画・後期基本計画に掲げる各プロジェクトを最重要課題として取り組むこととし、当初予算は、

一般会計  
644億2400万円

特別会計  
317億428万1千円

### 企業会計

484億2282万5千円

### 計

1445億5110万6千円

といったしました。

一般会計につきましては、行財政改革により歳出削減を図る一方、合併特別債活用事業や安心・安全にかかわる施策などの重点実施により、予算総額としては対前年比1.5%増となっております。

### 重点施策

重点施策につきましては、まちづくり総合計画・後期基本計画に沿ってご説明申し上げます。

### 安心安全・ふるさとを守るプロジェクト

はじめに、安心安全・ふるさとを守るプロジェクトです。

市政における最優先課題は、市民の安心・安全を守り、先人が築き上げてきたこの素晴らしい「ふ

るごと周南」を次の世代へと受け継いでいくことです。

本市では、昨年11月13日に、東ソー株式会社南陽事業所において爆発・火災事故が発生しました。この事故によって一名の尊い命が失われ、火災により発生した煙・ガスによる市民への健康被害や、流出した二塩化エタンによる海域汚染、漁業への影響などが心配されました。

コンビナート事故の恐ろしさを再認識したところです。

事故後の初動体制、特に情報の収集や市民への伝達における課題も浮き彫りとなりました。

リサイクルプラザおよび地方卸売市場においても火災が発生し、コンビナート企業でも火災が相次いだことは、大変遺憾なことです。

私たちは、改めて十分な反省に立った上で、今一度再発防止の徹底を図るとともに、このたびの教訓を本市の安心・安全にしっかりと生かしていく必要があります。

東ソーの事故を受けて、コンビナート企業各社とともに設置した「周南石油コンビナート等防災検討会議」において協議を重ね、事故が発生した場合に、速やかに正確な情報伝達を図られるよう、連絡

網の見直しを行ったところです。

また、県と協力して、情報収集や住民への広報、避難誘導までの手順を「初動対応マニュアル」として、この3月末までにまとめることになっております。

今後は、国の中央防災会議による津波の被害想定の見直しを受け、県と協議しながら、「周南市地域防災計画」の改訂に取り組んでまいります。

市民への防災情報伝達については、防災行政無線も含め総合的な本構想を策定します。

万一災害が発生した場合、避難や人命救助のための救援活動は、一刻を争います。災害時に避難所として協力していただける福祉施設を福祉避難所として指定するなどの新たなネットワークの構築に向けて取り組んでまいります。

また、災害に備え資機材の整備・充実に継続して努めるほか、近年頻繁に発生するゲリラ豪雨や台風などに備えて、緊急時に、より迅速に対応を図れるよう、土のふすトックヤードを市内数箇所を整備することといたしました。平成24年度においては、久米地区、新南陽地区、熊毛地区の3箇所に整備を行います。

小中学校施設の耐震化につき

ましては、本市の大切な子どもを地震から守ることも、災害時における市民の避難所でもあることから、積極的に取り組んできたところですが、その取り組みをさらに加速化させることとします。

平成24年度においては、高水小学校をはじめ小学校8校、中学校2校で耐震補強工事を実施するほか、今宿小学校をはじめ小学校8校、中学校2校で補強計画・実施設計を実施します。

他の公共施設においても計画的に耐震化に取り組むとともに、災害時に迅速かつ円滑な避難などが図られるよう、避難所となる公共施設の総点検を行ってまいります。

また、万一の場合に備え、災害時に指揮・指示系統が十分機能するよう、新たに図上訓練を実施

いたします。

災害発生時において、初動から復旧・復興に至るまで災害対策の拠点となるべき市役所本庁舎ですが、平成22年度に実施しました耐震診断におきまして、大規模地震による倒壊の危険性が指摘されたところです。また、バリアフリー化もされておらず、さまざまな窓口が分散していることから、利用される市民の皆様に変な不便をおかけしております。

こうした諸課題を解消するため、市役所本庁舎の建て替え整備に着手することとし、平成24年度は、利用者である市民の皆様の参画も得ながら、平成25年度までのスケジュールで基本計画の策定を行うとともに、基金を設置し、計画的な財源確保に努めます。

防災の大原則は「自分たちの身は自分たちで守る」ことです。「公助」の充実・強化とともに、自分の身は自分で守る「自助」、地域などで助け合う「共助」をしっかりと育むことで、災害に強いまちを実現してまいります。

本市における自主防災組織の組織率は、平成23年4月現在で78.5%となっており、全国平均を上回っておりますが、引き続き、組織率100%を目標に、設立準

備経費や活動費の助成を行い、さらには、新たに防災アドバイザー制度を設け、組織化や活動の活性化を促進してまいります。

### 明日へ繋げる

### コミュニティプロジェクト

次に、明日へ繋げる「コミュニティプロジェクト」です。



コミュニティ活動の様子

千年に一度と言われる東日本大震災は、私たちに、絆の大切さを気付かせてくれました。

市民一人ひとりが住み慣れた地域において、いつまでも笑顔で生き生きと暮らすためには、人と人との結び付きや、地域の絆を大切にしたい。まちづくりが必要であると思います。

各地域には、それぞれ個性や特色があり、抱える課題やコミュニティ活動にも違いがあります。こうした現状を尊重した上で、

地域の皆様と一緒に becoming 温もりが感じられるコミュニティの充実に取り組んでまいりたいと思います。

その施策を推進する上で拠点となり重要な役割を担うのが公民館であり、また、コミュニティセンターです。

しかしながら、老朽化している公民館も多いため、平成24年度において、公民館の施設整備計画を策定いたします。

なお、昭和42年に建設された櫛浜公民館については、公民館の中で最も古く、老朽化も著しいことから、これまでの地元との協議結果を踏まえ、基本設計を実施いたします。

それぞれの地域において、自主的・主体的な特色ある取り組みが継続的に行われるよう、市としてもしっかりと支援体制を整えます。

このため、コミュニティ推進組織をはじめ、市民活動団体を対象とした研修講座の開催などにより、地域の将来を担う人材の育成に努めます。

また、地域コミュニティ活動のコーディネーター役として、地域の方々と一緒に活動するさまざまな活動や取り組みを行う公民館主事

などの育成に向けた研修などを開催することにより、サポート体制の充実も図ってまいります。

さらに、コミュニティ中間支援組織である財団法人周南市ふるさと振興財団の事業推進体制の強化を図ることにより、市とふるさと振興財団が連携して、地域を応援してまいります。

このほか、生活交通や景観、防災など、特定の地域課題に取り組むとする地域についても、分野別の支援制度の充実を図ることで、積極的に応援してまいります。

コミュニティの充実を図ることで、各地域での自立的な活動が活発となり、自治力、地域力が養われ、地域自身による高齢者の見守りや配食サービスの提供、地域ぐるみでの子育て、コミュニティ・ビジネスの創出などにつながればと考えています。

こうした取り組みを通して、「自助」「共助」「公助」の仕組みを確かなものにしていきたいと考えています。

### 多様な地域資源活用プロジェクト

次に、多様な地域資源活用プロジェクトです。

本市には、にぎわいや交流を生

み出すことができる地域資源が数多くあります。この恵まれた資源を活用することで、このまちの持つ可能性を引き出し、魅力度を高める取り組みを進めてまいります。

### コンベンションシティの推進

その取り組みにおける最も重要な施策が「周南コンベンションシティ」の実現です。

昨年行われた「おいでませ！山口国体・山口大会」では、大会期間中、約7万人にも及ぶ方々が全国各地からこの周南市にいられました。

多くの市民ボランティアの皆様や宿泊、飲食、交通などの事業者の方々との連携による、本市ならではの心からの「おもてなし」をすることができました。

こうした国体の成果、実績を一



山口国体でのおもてなし

過性に終わらせるのではなく、今後のまちづくりを生かしていくことが大切です。

本市は、交通アクセスに恵まれているとともに、各種施設が充実しています。

こうした長所を生かし、コンベンションを積極的に誘致し、交流人口の増大を図ることで、宿泊施設や地元飲食店などの利用者の増加につなげ、地域経済の底上げを図ってまいります。

これに向けて、市内で一定規模以上の各種会議や研究大会、スポーツ大会などを誘致、開催する場の助成制度を新たに設けるとともに、大会関係者や参加者などが必要とする情報などを提供・発信できる体制の整備を図ります。

このためには、観光をはじめ、宿泊や飲食、交通など、さまざまな分野の推進組織や事業主体が連携を緊密にして、同じ方向性を持って一体的に取り組むを進めていくことが必要です。

市の組織体制の強化を図るとともに、その中心的な役割を担う全市横断的な組織として、「仮称」周南市コンベンション協会の設置を目指します。

周南緑地運動公園は、東緑地および中央緑地に各体育施設が



周南緑地を臨む景観

集約されており、野球場や庭球場などの施設も、国体に合わせた改修により、さらに充実しました。櫛ヶ浜駅や新幹線が停車する徳山駅からも近く、山陽自動車道の交通アクセスも良好です。瀬戸内海に面しているため、気候も温暖で少雨であるなど大いに可能性を秘めています。

こうした特性を生かして、競技会場としてはもちろんのこと、合宿やキャンプ地などとして多くのアスリートに利用いただけるスポーツ拠点を目指します。

このため、施設の一層の充実に向けて、東緑地に隣接する財団法人山口県交通安全協会が所有する約2・1ヘクタールの徳山自動車学校跡地を取得することで、スポーツ施設の再整備などを進め、

災害時には広域防災拠点としても多面的に活用できるような機能アップを図ります。

「コンベンションシティのもう一つの核」として期待される文化会館につきましても、会場利用の幅を広げるため、大ホールにおいて本格的な映像を投影できる設備などを整備します。

このほか、本市では周南市の魅力を外に広く紹介していくため、周南市誕生10周年にあたる平成25年に向け、PR映画の製作に取り組んでおり、まもなく歴史編となる第2作が完成する見通しですが、この製作を通して改めて強く感じたのは映像がもたらす効果、まちづくりに対する貢献度の高ことです。

多くの地方都市においては映画やテレビなどの撮影を誘致すること、地域の活性化につながるようとする取り組み、「映像によるまちづくり」が活発に展開されています。

近年、本市でも「周南映画祭」が開催されるなど、その気運は高まっております。また、地域資源に恵まれた本市はロケ地としての要件を備えています。

こうしたことから、民間団体とも連携し、「(仮称)周南市フィルム

ム・コミッション」を立ち上げ、積極的な取り組みを展開してまいります。

### 中心市街地活性化の推進

本市の最重要課題の一つである徳山駅周辺整備事業につきましては、昨年9月に着工し、本格的にまちの玄関口整備に向けて取り組みがスタートしました。今後、南北自由通路および橋上駅舎整備工事を順次進め、駅前広場の整備にも取り組んでまいります。

また、解体後の駅ビル跡地の利活用についても具体的な検討を開始します。

徳山駅周辺を含めた中心市街地の活性化につきましては、国からの支援を受けるため、現在、「中

心市街地活性化基本計画」の策定を進めているところですが、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、交流できる「パークタウン」をイメージとして、歩いて暮らせるまちづくりを着実に実行してまいります。

このため、「中心市街地活性化協議会」への職員の派遣を行うとともに、商店街の回遊性と中心市街地の魅力向上に向け、銀座通り周辺において歩車共存の空間整備のための社会実験を行うこととしております。

最近では、株式会社まちあい徳山を中心に、若いリーダーの新しい発想を取り入れながら、「こどもつちや商店街」や「まちのゼミナールin周南」といった新たなイベントや実験店舗展開など、さまざまな取り組みが次々に実施されており、この動きを止めることなく、本格的な潮流としていくため、さまざまな支援を行ってまいります。

その他の地域資源活用事業  
徳山動物園は、昭和35年に開園し、今年1月には来園者が延べ1500万人を超えました。駅から1・8キロメートルの「まちなかの動物園」は全国的にも珍しく、



徳山動物園 夜桜開園

このように立地から家族連れなどで大変にぎわっています。

夜間開園や小動物とのふれあい体験、サマースクール、学習支援ボランティア「ふれんぞ」の取り組みなど、さまざまなソフト施策を実施していますが、施設の老朽化などが大きな課題となっています。

平成24年度から、「楽しさ・驚き・学び・喜び・和みがぎゅつ」と詰まった動物園をテーマに、より自然環境に近い形の中での行動展示を行うとともに、教育的な要素もふんだんに取り入れることで、子どもから大人までが楽しんで学ぶことができる「オンリーワン」動物園を目指して、全面的リニューアルを実施してまいります。

また、近年大変話題となっているものに「コンピナートの夜景があるもの」「コンピナートの夜景があります。」

地元事業者が企画・実行される周南コンピナート夜景のツアーなどについてサポートをするほか、工場夜景が美しい四日市、室蘭、川崎、北九州、姫路の各市と共同で開催する「全国工場夜景サミット」を通して、夜景のまち周南の魅力を発信してまいります。

さらに、夜間照明やライトアップなどにより創りあげられる景観の持つ独特の美しさや神秘性に着目し、その魅力をイベントなどのさまざまな取り組みに生かしていくための検討を行います。

### 中山間地域振興プロジェクト

次に、中山間地域振興プロジェクトです。

市域の約7割を占める中山間地域は、私たちにさまざまな恵みや潤い、癒しなどをもたらしてくれるかけがえのない財産ですが、過疎化や高齢化が顕著であり、耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害、生活交通の維持など、さまざまな課題に直面しています。

このため、全市を対象とする地域コミュニケーション施策とあわせて、中山間地域の振興に重点的に取り組みます。

各地域が抱える課題の解決や活力創出のための取り組みを促進するため、地域の夢プラン策定やプラン実現のための事業を引き続き支援してまいります。

休校となった小学校を拠点に、互助・交流・経済を活動の柱として持続可能な地域づくりに挑戦している大道理地区においては、地域コーディネーター役を担う地域おこし協力隊員を全国公募し配置いたします。

中山間地域への定住を推進するため、定住希望者と地域の橋渡し役を担う「里の案内人」制度の拡充を図るほか、空き家を活用した居住体験の取り組みを支援します。

農家民泊など、ゆつくりと農山漁村の暮らしを体験できるプログラムなどの整備を図ることで、体験型の修学旅行の受け入れを

目指します。

大津島では、離島が持つ素朴さや島ならではの特性を生かし、平成25年度からカッター訓練や平和学習、自然体験などの体験型の交流事業を展開するため、旧大津島中学校を解体し、跡地にその拠点となる体験滞在交流施設を整備します。

### 産業活性化・活力創造プロジェクト

次に、産業活性化・活力創造プロジェクトです。

本市は石油化学コンビナートとともに大きな発展を遂げてきました。今後もコンビナートの振興なくして、本市の発展はありません。

国際経済情勢の変動や新興国の台頭などにより、コンビナートを取り巻く環境は厳しい状況にあります。

昨年11月には出光興産株式会社において、平成26年3月をもって徳山製油所における石油精製の操業を停止するとの発表がなされました。

これは、「エネルギー供給構造高度化法」に基づき実施される供給体制見直しの一環によるものですが、これまでの約50年にわた

る歴史が閉じられることは大変残念なことです。

今後、燃料油事業においては、新たに出入荷設備を増強するなど、西日本エリアの物流拠点としての機能強化が図られることなっており、化学事業部門はナフサの輸入ロット大型化などにより、これまで通りコンビナート各社への安定供給は維持され、さらに化学事業の主力拠点として、新たな事業展開も計画されております。

市としてもできる限りの支援を行うことで、コンビナートのさらなる発展につなげていきたいと考えています。

周南石油化学コンビナートにおいて、製造過程で発生する水素の量は全国有数ですが、これを利用した新たな取り組みもスタートしました。

昨年9月に、株式会社トクヤマと岩谷産業株式会社により、トクヤマのプラントで発生する水素を利用し、ロケットや燃料電池の燃料などとなる液化水素の製造を行うため設立された合弁会社「山〇リキッド」がスタートしています。

水素は、未来のクリーンエネルギーとして今後の需要が見込まれており、今回の取り組みが新たな

産業の創出に向けた大きな弾みになるものと期待しております。

市としても無利子融資である「地域総合整備貸付金」を実行することで、今後の設備投資を支援してまいります。

また、企業と市による「仮称」周南コンビナート活性化懇談会を新たに設置し、私が直接企業の皆様と情報や意見の交換を行うことで、コンビナートを核とする産業の振興につなげてまいります。

さらに、国内には15の石油化学コンビナートがありますが、この全国のコンビナートの施策を担う経済産業省化学課に対して職員を派遣を行うこととしました。

産業振興を図っていく上で、国際競争力を高めていくことが大切です。

昨年5月、徳山下松港は国際バルフ戦略港湾に選定され、原燃料輸送のコスト削減を目的として、船舶の大型化に対応するため、集中的な港湾整備がされることになっていきます。今後とも、整備の加速化と拡充が図られるよう、国や県へ積極的な働きかけを行うてまいります。

中小企業の振興も大きな課題です。本市には約8000社の企業、



周南石油化学コンビナート

事業所がありますが、そのほとんどが中小企業であり、これらの企業が本市におけるものづくりやサービス業、そして雇用を支えています。

引き続き、商工会議所や商工会、関係機関と連携しながら、融資制度や設備投資に対する奨励金、新たな商品開発に対する支援などを通じて、積極的に中小企業の振興を図ります。

そして、こうした施策の成果が、雇用情勢の改善や、一人でも多くの若者の就業の場の確保につながるよう、取り組んでまいります。

### その他の主要施策

その他の主要施策につきましては、分野ごとに説明申し上げます。



大潮地区の早苗

## 福祉・保健・医療

少子高齢社会の進展や核家族化、世帯の少人数化などに伴って、支援を必要とする人が増えており、社会保障の充実が市政においても最も重要な課題の一つとなっています。

このため、誰もが、住み慣れた地域で、心豊かに、安心して暮らしていけるよう「ふれあい 支え愛いのちこ心をつなぐ周南」を基本理念とする「周南市地域福祉計画」を確実に実行していきます。

本市の65歳以上の高齢者人口は約4万人、高齢化率は26%、そのうち在宅の一人暮らし高齢者は約6000人、75歳以上の夫婦世帯は約1900世帯で、今後、ますます増加する傾向にあります。

地域力を生かした見守り活動の促進を図るとともに、「周南市第5期介護保険事業計画」に基づく介護サービスをはじめとする高齢者福祉の充実に努めます。また、より質の高い介護サービスの提供を目指し、新たに指導・監査担当を配置します。

障害者支援については、障害のある人が、自らの能力を発揮し、地域社会で自立した暮らしが送れるよう、就労支援給付金の支給対象の拡充を図るとともに、就労

支援やデイサービスなどの通所サービスの充実に取り組みます。子育て支援については、安心して子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズにあわせたサービスの実施や、地域子育て支援拠点事業の推進を図ります。このほか、関係機関との連携による児童虐待防止対策の強化に努めます。

生活困窮などの公的扶助を必要とする家庭が増える中、生活保護の相談や申請のほか、複雑な問題を複数抱える家庭に対して適切な支援を行うために、専任相談員を配置した「福祉総合相談室」を新たに設置し、相談体制の強化を図ります。

市民の皆様が、いつも元気に健やかな暮らしを営んでいく上で、医療体制の充実が欠かすことができません。本市の地域医療に重要な役割を担う、徳山医師会病院の新棟建設に対して支援、助成を行うとともに、中山間地域においては、将来にわたり継続して医療が提供できる体制の整備に取り組んでまいります。

また、平成23年度までとなっていた妊婦健診の全額公費負担や子宮頸がんなど予防ワフチン接

種事業につきましては、国・県に対し、強く事業継続を要望してまいりましたが、国の財政支援の延長が決まり、平成24年度の継続実施を実現することができました。

このほか、市民の皆様が心身ともに健康な状態を保ち生活できるように、各世代における健康づくりおよび食育の充実を図ってまいります。

## 環境共生

東京電力福島第一原子力発電所の事故と、これに伴う電力不足などによって、これまで以上に環境やエネルギーに対する関心が高まっています。

安心・安全で、地球にもやさしい再生可能エネルギーの普及啓発に向け、住宅用太陽光発電設備の設置補助を継続して実施することとともに、鹿野中学校において太陽光発電設備を整備します。

また、電気自動車一台を公用車として導入するほか、引き続き、市民参加の「エコチャレンジ」市民節電所事業の実施や自治会が行うLED防犯灯設置に対する助成、市の施設へのみどりのカーテン設置などの取り組みにより、市民ぐるみでの温暖化防止や省エネ対策に向け、意識啓発や実践方

法の普及を図ります。

昨年10月に火災を起こしたりサイクルプラザ「ペガサス」につきましては、完全復旧に向けて取り組みとともに、今後、二度と事故、火災が発生しないよう対策を講じてまいります。さらに、広報活動を通して、リサイクルと分別収集に対する市民の一層の理解を深めていきます。

河川など公用水域の水質保全や生活環境の向上を図るため、下水道未整備区域における早期水洗化に向け、引き続き、国の助成に加えた市独自の助成を行うことにより、合併処理浄化槽の設置を促進します。

ツル保護対策につきましては、ツルと人間の共生を目指し、「周南市ツル保護協議会」と県の組織である「八代のツル渡来数回復対策事業調査研究委員会」を統合し、県との連携を強化する中で、出水市からの保護ツル移送事業を継続実施するほか、引き続き地元やボランティアの皆様と協力して環境整備に努めます。

## 教育・文化

将来を担う子どもたちが豊かな人生を築いていくためには、教育環境の充実が欠かすことがで

きません。

子どもたちの個性を伸ばし、能力を高めていくためには、地域ぐるみで学校を支えていくことも大切です。

こうしたことから、教育委員会から任命を受けた保護者や地域の皆様には、学校運営に加わっていただくことで、新たな声や視点をさまざまな課題解決に生かしていく「コミュニティ・スクールの取り組み」を全市に広げてまいります。



コミュニティ・スクール

この取り組みを通じて、学校そのものの教育機能をさらに充実させ、子どもたちの豊かな学びを創造し、地域の絆の中で、将来を担う人材として大きく成長してくれることを期待しています。

このほか、学校教育環境の整備のため、菊川中学校および桜田中学校体育館の建設工事を行うとともに、熊毛中学校体育館の基

本、実施設計を行います。熊毛地区の学校給食センターにつきましても、平成26年度から供用開始が図れるよう、実施設計および建設工事に取り組んでいきます。

一人ひとりが生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりのため、引き続き「仮称学び・交流プラザ」につきまして平成27年度供用開始に向け、設計や既存施設の解体などを実施します。

このほか、将来本市で活躍する人材の育成のため、徳山大学に創設された特別奨学生制度への出捐を行い、その支援を図ります。

文化芸術は、人々の生活や心に「ゆとり」と「潤い」を与えてくれます。心豊かに暮らせる周南市の実現を目指し、文化芸術の振興に積極的に取り組んでいきます。

本市ゆかりの画家、安野光雅さんの絵本原画展を美術館で開催するほか、林忠彦賞20回記念写真展を神奈川県川崎市で開催し、本市の文化を発信いたします。

周南市には、多くの名を馳せた先人たちがいます。その偉業や素顔を知ってもらうことにより、本市の歴史に対する理解を深めていただくため、新たに数回シリーズで「周南人物伝」を美術館で開催します。平成24年度は、エコノ



林忠彦賞20回記念写真展

ミストの草分けとして有名な高橋亀吉氏ら4人を取り上げます。

スポーツにおいては、昨年の国体の成果を踏まえ、県と連携して、スポーツの一層の振興を図るとともに、本年、野球殿堂入りが決定した郷土の誇りである和田地区出身の故津田恒実投手の功績を称え、その栄誉を後世に永く語り継いでいくため、野球関係者の方々のご意見も踏まえ、昨年にニューアルした周南市野球場を「仮称津田恒実・メモリアルスタジアム」とすることなどを検討してまいります。

国際交流については、中国山東省淄博市との友好都市提携に向け、日程調整をしておりますが、今年度中の調印が難しくなりましたので、今後も引き続き協議してまいります。

## 都市基盤・景観

都市基盤においては、安全な道路環境の維持・確保を図るため、道路の改修や補修などを引き続き計画的に進めます。平成24年度は、徳山地区の市道徳山停車場線、新南陽地区の市道駅前野村開作線、熊毛地区の市道幸ヶ丘線、鹿野地区の市道西谷線など22路線を予定しております。

また、老朽化する橋りょうについては、新南陽地区の古川跨線橋の補修工事を実施するとともに、97橋の長寿命化計画の策定に取り組みます。

さらに、平成24年度から新たに、安心・安全な生活環境を確保するため、ご要望の多かった私道の補修に対する助成を実施いたします。

台風や集中豪雨などによる水害の対策として、福川南地区において市道中開作線整備事業とあわせて下水道整備に着手することにも、河川や排水路に堆積した土砂の浚渫を継続して実施します。

久米および富田西地区の土地区画整理事業については、引き続き進捗を図るとともに、久米中央土地区画整理事業においては、長年の懸案である山陽自動車道徳山東インターチェンジに至る幹線

道路・櫛浜久米線の平成25年度中の全面供用開始に向け、重点的に取り組むこととしております。

念願であった熊毛地区の水道整備につきましては、光市への浄水の委託について、光市および国、県と協議が整い、計画変更に関する見通しが立ちました。平成24年度から送水および配水施設の整備に取り掛かり、平成27年度に一部給水開始し、平成31年度までには八代を除く熊毛地区全域での給水を目指します。

景観・街並みはまちづくりを進める上で重要な要素です。本市においては、「周南市景観計画」を昨年8月から施行し、このたび地域を代表する75箇所を市民が推薦する「ふるさと周南景観特選」として選定したところです。



景観シンポジウム

良好な景観の形成や保全に向け、周南市景観条例を制定するとともに、市民の取り組みを支援する制度を設け、市民の皆様との協働で景観まちづくりを進めます。

## その他の産業振興

農業は、安全、安心、新鮮な食料を提供するという重要な役割を担うとともに、最近新たな雇用の場としても期待が寄せられています。

こつした中、本市の農業従業者の平均年齢は70歳を超えており、農業の担い手の育成が大きな課題となっています。このため、若者の新規就農に向けた支援や集落営農法人の育成、生産体制の整備などに取り組んでまいります。

このほか、三丘地区において、県営事業による暗渠排水やほ場整備などを進めるとともに、新たに長穂地区でのほ場整備に向けた合意形成に着手いたします。

林業については、搬出間伐や林内路網の整備などを積極的に推進し、振興を図ります。

中山間地域を中心に大きな問題となっている、農作物への有害鳥獣による被害につきましても、地域ぐるみでの被害防止活動を積極的に支援してまいります。

水産業につきましては、藻場・干潟の保全活動や種苗放流などを行うことで、引き続き水産資源の保護育成に努めます。

また、漁港施設の適切な維持管理と改修などを図るため、長寿命化計画を順次策定することとし、平成24年度は大津島漁港について実施します。

商業・サービス業については、市内での消費拡大を図るため共通商品券発行事業を支援するなど、商工会議所や商工会、関係機関と連携して振興を図ります。

このほか、中須地区のブランド米を使った「泣かす酒」などの例にみられるように、近年、若い事業者、生産者を中心に新たな事業への取り組みが行われています。

山口県産業技術センターや周南地域地場産業振興センターと連携しながら、こうした農商工連携や生産から販売まで一貫して手掛ける6次産業化を促進し、新商品の開発や地場産品の利用促進、雇用の創出などにつなげます。

こうして開発された商品のアンテナショップとしても大きく期待される西部道の駅につきましては、平成26年春の供用開始を目指し、建築基本設計やそれに伴う造成設計については造成工事などについて

て、国と一体的に事業の推進を図るとともに、引き続き新たな特産品開発や管理運営体制整備に向けて具体的に進めてまいります。

労働者福祉対策といたしましては、工場閉鎖などに伴い、離職を余儀なくされた方の生活の安定を図るため、県と協調して行う離職者緊急対策資金貸付制度の融資枠の拡大を図ります。

### アバーサリーヤー 周南市誕生10周年

今年には、アバーサリーヤーです。徳山港が開港90周年、銀南街と中央街商店街が60周年、銀座商店街も50周年、そして、文化会館が30周年、総合スポーツセンターは20周年を迎えます。

徳山港では、5月に大型帆船「日本丸」の寄港が決まり、一般公開も予定されております。5月23日には「日本港湾協会通常総会」も開催され、全国から約1000人の方々が周南市に來られます。



日本丸

中心市街地では、商店街とまちあい徳山などが協力して、さまざまな催しを企画されております。

文化会館では、30周年記念事業として、NHK番組の公開収録などを行います。

さらに、本市は平成25年4月21日で誕生10周年を迎えます。平成25年1月から1年間かけて各種記念事業を実施することとし、これを市民の皆様と一緒に

お祝いするため、市民参加による準備委員会を立ち上げます。

アバーサリーヤーや周南市誕生10周年のイベントなどを通じて、市民の皆様と一緒に、まち全体を盛り上げてまいりたいと考えております。

### 行財政改革の推進

以上、申し上げてまいりました各プロジェクトをはじめとする諸

施策を着実に実行していくとともに、将来にわたり持続可能な社会の実現のため、常に事業の見直しを図り、「あれか、これか」のメリハリの効いた選択と「集中」によるまちづくりを展開していくことが重要です。

このため、新たに「行政改革推進室」を設置するとともに、職員一丸となって、行財政改革に取り

組んでまいります。

特に、平成24年度においては、合併後これまで進んでこなかった公共施設の統廃合、再配置に、市民の皆様のご理解をいただきながら積極的に取り組んでまいります。

もちろん、行財政改革とは、全てにわたって縮小、抑制することではありません。

行財政基盤を強化することで、今必要とされる施策、そして、将来に夢を抱くことができる事業には、重点的に予算と人材を投入し、しっかりと実行してまいります。

そして、職員一人ひとりが常にスキルアップに努め、それぞれの職場で、持てる能力を市民のために最大限に発揮することが、何よりも大切であり、大きな効果をもたらす行財政改革の一つであると、私は考えています。

こうした市役所を職員とともにつくってまいります。

### おわりに

冒頭申し上げましたとおり、時代は、まさに大きな転換期のうねりの中にあります。

世界を見渡し、過去に学び、将来を見据え、前に向かって進んでいかなければなりません。

そのための確かな支えとなるのが、人と人との絆、地域の絆であると私は信じます。

市民一人ひとりが尊重され、それぞれに活躍の場があり、笑顔で輝くことのできる、そんな周南市の未来に向け、オール周南、もやいの心でまちづくりを推進します。

さまざまな課題がありますが、先人たちが築いてきた歴史や文化、風土を大切にしながら、この美しいふるさと周南を守り、育て、次の世代につなげていくため、私も自ら先頭に立ち、全身全霊で取り組んでまいります。

議員の皆様ならびに市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



平成24年2月29日

周南市長 木村健一郎

# 市の組織機構を 改編します



市では、平成24年2月に改訂した「まちづくり総合計画・後期基本計画」の最重要点プロジェクトを推進するために、組織機構を23部局78課に改編します。

新たな組織では、市民の皆さん一人ひとりが尊重され、笑顔で輝くことのできる、市民が主役のまちづくりを推進していきます。

## 新しい組織機構の改編

■開始期日 4月1日

## 組織の改編で大きく変わったところ

### ■安心安全・ふるさとを守るプロジェクト推進体制の整備

市民の皆さんが、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを推進するため、災害対策本部機能の強化と自主防災組織の育成を推進するため、企画総務部内に防災危機管理課を設置し、機能強化を図ります。

### ■明日へ繋げるコミュニケーションプロジェクト推進体制の整備

地域コミュニティの再生強化、将来を見据えた自治力・地域力の向上を推進するため、地域振興部を新設します。

■中山間地域振興プロジェクト推進体制の整備  
あらゆる主体の知恵と力を結集し、重点的かつ総合的に中山間地域振興を推進するため、いのち育む里づくり部を再編し、中山間地域振興部門は、地域振興部へ、農林水産業部門は、経済産業部へ統合します。

■産業活性化・活力創造プロジェクト推進体制の整備  
商工業と農林水産業との融合による、周南ブランド化を支援するため、商工観光部を再編し、経済産業部に改編します。

■財政健全化プロジェクト推進体制の整備  
選択と集中を柱とした、行財政改革を集中的かつ迅速に断行するため、行政改革推進室を新設します。

## 企画総務部

### 政策企画課

総合計画の策定・推進、政策推進の緊急調整に関することなど

### 秘書課

秘書、市長会・副市長会、定例会記者会見に関することなど

### 広報情報課

市広報の発行、情報システムの管理、指定統計調査の実施に関することなど

### 総務課

儀式、例規の制定・審査、表彰・褒章、固定資産評価審査委員会に関することなど

### 行政安全対策室

不当要求行為の防止に関することなど

### 庁舎建設準備室

新庁舎建設に関することなど

### 人事課

職員の人事・研修、職員の給与・福利厚生に関することなど

### 防災危機管理課

防災・災害対策、国民保護など

### 行政改革推進室

事務事業・公共施設の統廃合を含めた見直し、行政改革推進など

### 財務部

#### 財務課

市財政計画、予算の編成・執行管理、市民総合賠償補償保険の加入・

請求に関することなど

### 課税課

市税の課税に関することなど

### 納税課

市税の督促状の発布、徴収、納税相談・滞納整理に関することなど

### 契約監理課

工事・物品・業務委託の入札監理に関することなど

## 地域振興部

### コミュニティ推進課

市民協働、市民活動・市民参画の推進に関することなど

### 地域づくり支援室

コミュニティ活動の推進、自治会、支所に関することなど

### 中山間地域振興課

中山間地域の振興に係る施策の企画・総合調整に関することなど

### 観光交流課

観光、コンベンションシティ・ツーリズムの推進に関することなど

### 国際・都市交流室

国際交流、姉妹都市との交流に関することなど

## 環境生活部

### 環境政策課

環境行政の総合調整、犬の登録・注射・墓地・火葬場・斎場、し尿処理、簡易水道事業に関することなど

### 簡易水道熊毛分室

熊毛地域の水道基盤整備事業に

に関することなど

### リサイクル推進課

一般廃棄物の処理計画、一般廃棄物の収集運搬・処分、不法投棄に関することなど

### 市民課

住民異動の受付、戸籍謄本・抄本や住民票の写しの交付、所得証明などの各種税証明の発行、印鑑登録、埋葬・火葬許可、旅券の発給申請・交付に関することなど

### 生活安全課

交通安全対策、生活交通の確保、交通災害共済、防犯に関することなど

### 市民相談センター

市民相談に関することなど

### 消費生活センター

消費生活に関することなど

### 人権推進課

人権問題の啓発・総合調整、隣保館に関することなど

### 男女共同参画室

男女共同参画の推進に関することなど

#### 申請窓口が市になります

▼墓地、納骨堂、火葬場の経営許可申請…環境政策課担当課を変更します

▼し尿処理  
リサイクル推進課から環境政策課に変更

▼本庁舎での、ごみに関する窓口  
リサイクル推進課移転に伴い、環境政策課に変更

※事務所の位置と電話番号については、同時配布のテレフォンガイドで確認してください。

福祉部

生活支援課

生活保護法、民生・児童委員、日本赤十字社事業、災害援助に関することなど

福祉総合相談室

福祉相談に係る連携・調整、生活保護の相談・申請に関することなど

高齢者支援課

老人福祉法、介護保険法、介護の認定・審査、高齢者福祉に関することなど

障害者支援課

障害者手帳の交付、障害者への手当の支給に関することなど

子ども家庭課

児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、子育て支援、保育所など

こども家庭相談室

要保護児童対策、児童家庭相談に関することなど

健康医療部

地域医療課

地域医療体制、救急医療対策に関することなど

病院管理室

市民病院の運営に関することなど

鹿野診療所

国民健康保険鹿野診療所の運営に関することなど

保険年金課

国民健康保険の給付・賦課・徴収、後期高齢者医療、特定健康審査・保健指導、国民年金に関することなど

健康増進課

健康づくり、歯科衛生、感染症予防、自殺予防、食育に関することなど

経済産業部

商工振興課

商業・鉱工業、地場産業の振興、商業企業立地の推進、起業家支援、労働福祉に関することなど

農林課

農林業の振興・指導、有害鳥獣被害防止対策・捕獲に関することなど

地方卸売市場

青果市場・花き市場の運営・維持管理に関することなど

水産課

水産業の振興・指導、漁港・海岸保全施設の整備・維持管理に関することなど

地方卸売市場水産物市場

地方卸売市場水産物市場の運営・維持管理に関することなど

道の駅推進課

道の駅の推進に関することなど

動物園

動物園の管理運営に関することなど

建設部

住宅課

住宅政策の総合調整、住宅の耐震化、市営住宅の運営・管理に関することなど

道路課

道路の境界の確認、道路の認定・廃止、道路・橋りょうの維持・災害復旧に関することなど

河川港湾課

用地の取得・物件補償、河川・港湾の災害復旧、砂防・急傾斜地対策に関することなど

建築課

市有建築物の建築工事、設備工事に関することなど

都市整備部

都市計画課

都市計画、景観行政、地籍調査に関することなど

建築指導課

建築基準法に基づく許可、認定、指定・報告、建築物などの確認に関することなど

開発指導室

宅地の開発行為などの協議、許可、審査、承認・公告などに関することなど

公園花とみどり課

都市緑化、都市公園・農村公園・街路樹の整備・維持管理に関することなど

区画整理課

土地区画整理事業の基本計画・事業計画に関することなど

中心市街地整備部

中心市街地整備課

徳山駅周辺整備、中心市街地活性化基本計画に関することなど

競艇事業部

競艇管理課  
ボートレース徳山の経営分析・経営方針など

競艇事業課

ボートレース徳山の投票業務・番組編成など

教育委員会

教育政策課  
教育委員会の会議、学校施設などの整備計画・建設・維持管理に関することなど

生涯学習課

生涯学習の推進、公民館などの管理運営、青少年教育の推進、児童クラブに関することなど

人権教育課

人権教育の総合調整、教育集会所に関することなど

学校教育課

小・中学校の教職員の指導助言に関することなど

文化スポーツ課

芸術文化の振興、文化財の保護、スポーツの振興に関することなど

学校給食課

学校給食の運営、学校給食施設に関することなど

中央図書館

図書館の管理運営、読書指導・普及に関することなど

上下水道局

総務課

人事、災害対策、工事・業務委託の入札・契約に関することなど

水道財政課

水道事業の予算・決算に関することなど

下水道財政課

下水道事業の予算・決算に関することなど

料金課

水道料金・下水道使用料に関することなど

水道工務課

給水工事の申し込み、給水装置の修理の受け付けに関することなど

下水道工務課

公共下水道、集落排水施設の建設・改築の計画・許可に関することなど

浄水課

水道施設の維持管理、浄水場の維持管理に関することなど

下水道施設課

浄化センターの建設・改築計画・営繕工事維持管理に関することなど

水質管理課

水道の水質検査・水質管理に関することなど